

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 6 月 12 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 16 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ネバダ大学リノ校(日本語名) University of Nevada, Reno(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 5 月中旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	21,778 人
創立年	1874 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 約 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	8700	1,305,000 円	Nevada LLC
食費	3747	562,050 円	秋:Meal Plan Gray, 春:100 回の回数券
図書費		円	
学用品費	250	37,500 円	教科書代、授業費用
携帯・インターネット費	250	37,500 円	Mint Mobile
現地交通費	0	0 円	現地のバスは UNR 学生証で無料で利用可 (☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		700,000 円	
被服費	100	15,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1854	278,100 円	形態: UNR の保険費用(免除できなかった)、明治大学の必須の保険費用は約 10 万円程度。
渡航旅費		400,000 円	往復
ビザ申請費		40000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	14901 (=2,235,150 円)	3,375,150 円	
総計(A+B) ※円		3,375,150 円	1 \$ =150 円で計算

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田 目的地：リノ 経由地：ロサンゼルス	
復路 出発地：リノ 目的地：成田 経由地：ロサンゼルス	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：ANA 料金：320,000 復路 航空会社：United 料金：84,000 ∴合計：404,000	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前： Nevada LLC) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学のホームページから	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
LLC は寮の中でも比較的きれいで治安もいいのでおすすめです。キッチンがなく自炊できないので、自炊したい方は Canada Hall という寮か、アパートなどを検討すると思います。また、1 年間留学する方は、寮が冬休み期間中は閉まるため、注意が必要です。私は、他の交換留学生の友達と一緒に知り合いの家に泊めてもらっていました。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

夜は出歩かない。大学内は比較的安全だが、ダウンタウンなどに行くときは注意する。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットは問題なく使えた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私は現地で銀行口座を開設せずに、おもにクレジットカードを使っていました。現金は友達とのお金のやり取りに便利だったので、ある程度は持っていた方がいいと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ANTH 101 Intro to Cultural Anth	文化人類学入門
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Fall2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Maria Bruno
授業内容	文化人類学について
試験・課題等	筆記試験が 3 回
感想を自由記入	月・水は講義形式の授業で、金はディスカッションのクラスがあった。101 の授業であるため、内容はそこまで難しくなく、先生が毎授業分の PPT をあげてくれていたので、後から復習しやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
CRJ 104 Intro Admin of Justice	司法行政入門
科目設置学部・研究科	criminal justice
履修期間	Fall20243
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Pamela Everett
授業内容	アメリカの司法制度(刑法、警察、裁判について) 授業は月・水が対面で、金がオンラインで動画を見る課題
試験・課題等	オンラインでの毎週のクイズ、4 回の試験。
感想を自由記入	アメリカの司法について幅広く学べる。先生が本当の弁護士であるためリアルな話をたくさん聞けてとても面白かった。一口に殺人といっても、murder, homicide, manslaughter があるなど、アメリカにおける事件の判断基準や刑法の在り方などを具体的に学べた。アメリカの刑事ドラマなどが好きな人におすすめの授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ENG 113 Composition I Intrntl & Mltlng	留学生と多言語話者のための作文
科目設置学部・研究科	English
履修期間	Fall2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mahmoud Abdi Tabari
授業内容	様々なタイプの英作文を学ぶ。
試験・課題等	試験は特にないが、細かい課題がかなり多かった。
感想を自由記入	基本的には英作文の授業だが、エッセイを書く以外にも動画を作ったり、プレゼンをしたりと幅広く英語を使う。やる事がかなり多い授業だったが、クラスメイトは私たちと同様に international の生徒たちなので英語を学ぶ場としては良かったと思う。しかし、個人的には先生との相性が悪く感じ、あまり好きな授業ではなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
HIST 211 History of East Asia I		東アジアの歴史 I
科目設置学部・研究科	History	
履修期間	Fall2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Eugene Y. (Gene) Park	
授業内容	東アジア(中国・日本・韓国)の新石器時代から 18 世紀までの歴史について学ぶ。	
試験・課題等	オンラインでの試験(オープンノート)、小論文	
感想を自由記入	東アジアの歴史について詳しく学べる。先生が事前に PPT や資料をウェブキャンパスであげてくれたので、授業についていけなくなるなどの心配はなかった。アメリカにおける東アジアの立ち位置などの話もあったため面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PHIL 210 World Religions		世界の宗教
科目設置学部・研究科	Philosophy	
履修期間	Fall2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Fiset	
授業内容	世界の宗教について(キリスト教、イスラム教、ゾロアスター教、仏教、神道などかなり幅広く学ぶ)	
試験・課題等	3 回の試験(エッセイ+特定の文章に対する解釈、試験問題は事前に提示されるため、準備してから望む形)	
感想を自由記入	この授業を受けたことで、世界の多くの宗教について詳しく知ることができた。特に仏教・神道についての回の講義は、自分の文化の外からの視点で学ぶことができとても面白かった。秋学期で一番好きな授業だったが、毎回の授業の復習や試験対策が一番大変だったので、授業内容に興味がある人にはおすすめする。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
COM 101 Oral Communication		口頭コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	Spring2025		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Deborah Downing-Wilson		
授業内容	異なるタイプのプレゼンテーションのやり方について学ぶ。		
試験・課題等	3 回の個人プレゼンと 1 回のグループプレゼン		
感想を自由記入	この授業は、プレゼンテーションについて学ぶ授業なので計 4 回のプレゼン課題がある。クラスメイトはアメリカ人であり、ネイティブスピーカーの前で、英語でプレゼンすることは自分の英語がどこまで通用するのか知ることができる良い機会となった。プレゼンの準備は大変で、毎回のプレゼンのたびにとても緊張したが、この授業のおかげで英語力がかなり上がったと思う。また、先生もとても優しく、いつでもサポートしてくれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
HDFS 201 Lifespan Human Develop		人間の生涯発達について	
科目設置学部・研究科	Human Development and Family Studies		
履修期間	Spring2025		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Samuel Ehrenreich		
授業内容	生涯を通じた人間の成長、発達について		
試験・課題等	毎週のオンラインクイズ、試験(テストセンターで受ける)、2 回のインタビュー課題		
感想を自由記入	この授業では人間がどのように成長、発達していくのかを学ぶ。生まれてから死ぬまで人間のライフステージについて詳しく学べる。生物学、社会学、心理学など様々な分野が混ざった内容で興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PHIL102 Critical Thinking		批判的思考
科目設置学部・研究科	Philosophy	
履修期間	Spring2025	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Ravi Thakral	
授業内容	批判的思考を養い、良い推論をできるようにする	
試験・課題等	クイズ、試験	
感想を自由記入	この授業は哲学というよりも思考力に関するもので、論文や教科書を用いて generic (一般化の表現) や fallacy (誤謬)、陰謀論についてなど幅広く学んだ。試験ではエッセイを書くこともあり、英作文力が鍛えられた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PHIL 213 Intro Modern Phil		近代哲学入門
科目設置学部・研究科	Philosophy	
履修期間	Spring2025	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Fiset	
授業内容	近代の哲学者の考え方を学ぶ。(デカルト、スピノザ、ライプニッツ、ロック、カントなど)	
試験・課題等	3 回の筆記試験と、各週の読書課題	
感想を自由記入	近代哲学について、その時代の著名な哲学者の思想とともに学ぶ。秋学期の PHIL210 の授業で哲学に興味を持ち、その先生の授業だったため取ることにした。内容はかなり複雑で英語で学ぶことの大変さを改めて知ったが、とても面白かった。難易度でいえば、この授業が留学中取った授業で最も難しかったと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PSC 101 American Politics Process and Behavior		アメリカの政治プロセスと行動
科目設置学部・研究科	Political Science	
履修期間	Sprin2025	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Owen Fite	
授業内容	アメリカの政治やその制度について学ぶ。	
試験・課題等	オンラインでの試験(オープンノート)、小論文	
感想を自由記入	アメリカの政治制度について詳しく学べる。授業の資料も提示されるため、ついていけなくて困ることはないが、私はアメリカの政治についてほとんど知らない状態で受講したため、他のアメリカの学生が常識として知っていることを知らないことがあり、そこは大変だった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	TOEFL 受験
	10 月 ～ 12 月	選考、結果発表
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学準備（申し込みなど）
	4 月 ～ 7 月	留学準備（ビザ申請、航空券の手配）
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ネバダ州のリノは、大都市と比べて落ち着いていて、かつ田舎過ぎないので住みやすい場所です。気候は年中とても乾燥していて、特に夏はとても暑いのですが、湿気がなく汗をかかないため過ごしやすかったです。

留学生活の中で、最も大変だったのはやはり英語です。日常会話はなんとかなくても、授業では専門用語の英語などが多くあり、ついていくのがとても大変な授業がいくつかありました。自分の中で、取りやすい授業と挑戦としてとる授業のバランスに気を付けて履修した方が良いと思います。私は、特に留学後半の春学期に、負担の多い授業を多く取ってしまい、授業以外の自分のやりたいことに時間があまり使えなくなってしまったので、授業での学びと留学生活、どちらも両立できるように予定を組むことをおすすめします。

そして、英語力に関しては、完璧主義にならずに、遠慮なく英語を話すことが大事だと思います。私自身も留学当初は、自分の英語に自信がなかったために、つい話すことを避けてしまっていました。振り返ると、そうやって遠慮していた時間が本当にもったいなかったと思います。留学は長いようで本当にあっという間なので、遠慮せず、むしろ第二言語なんだから上手く話せなくて当たり前くらいのマインドで、どんどん英語を使うのが上達の近道だと思います。また、アメリカにはたくさんの第二言語話者がいて、そういった人たちを支える人も多くいるので、何か困ったら相談してみるとよいと思います。大学には conversation partner 制度という非ネイティブの生徒に対して、ネイティブの生徒が英語を教えるという制度があり、ネイティブの子と仲良くなるきっかけになるのでおすすめです。

個人的には、留学生活で特に大きな問題はありませんでした。それどころか、日本での生活と比べて、多くの人と毎日関わることができて、とても刺激的で、貴重な経験をできた 9 か月間だったと思います。また、ルームメイトがアメリカ人の子だったのもありますが、日本での生活のようにずっと忙しいという感じではなく、土日など休むときはしっかり休み、勉強するときはするというようなメリハリのある、豊かな生活はとても快適でした。

これから留学される方については、自分のやりたいことを積極的にやっていくことが大事だと思います。また、留学が始まると、授業や課題、現地での生活に追われて意外と時間に余裕がなくなります。だからこそ、出発前の段階で「自分はこの留学で何を達成したいのか」「絶対にやりたいことは何か」を明確にしておくの良いと思います。そして、もちろん英語力は必ず伸びていきますが、私の感覚としては、留学前の英語力によってその後の伸び方や学びの深さも大きく変わると感じました。私自身、「もっと準備しておけばよかった」と感じる場面も多くありました。だからこそ、できる限り出発前に英語力を高めておくことをおすすめします。事前の準備がしっかりしているほど、留学中の成果や得られる経験もより充実したものになるはずで、皆さんが充実した留学生活を送れるよう、心より応援しています。